



朝のTVドラマ「ゲゲゲの女房」の「ゆかりの地」として話題の境港市。ここで紹介するのは、片道1時間で行けるセントレア発着の飛行機を使った旅の提案です。「鬼太郎」を筆頭に、楽しみに満ちた「ゲゲゲのぶるさと」へようこそ。

「ゲゲゲのぶるさと・境港」を 楽しみ尽くす、ぶらり旅



(C)水木プロ

セントレアから鳥取県の空の玄関口・米子空港までは1時間。つかの間のフライトを経て到着ロビーに出ると、飛行機の模型にまたがる鬼太郎の姿が飛び込んできます。今年「米子鬼太郎

空港から妖怪度高し!

セントレアから鳥取県の空の玄関口・米子空港までは1時間。つかの間のフライトを経て到着ロビーに出ると、飛行機の模型にまたがる鬼太郎の姿が飛び込んできます。今年「米子鬼太郎

空港」の愛称が付いただけあり、ほかにも出発時刻の掲示板の上に「ねずみ男」の人形、自動チケットイン機に「ねこ娘」のぬいぐるみなど、見渡せばおなじみの姿がそこかしこに。しばし「妖怪探し」に興じてから、向かうはJR境線「境港駅」です。

空港とほぼ直結の米子空港駅から同駅へは妖怪列車で約15分。ちなみに同路線すべての駅には妖怪の名前から取った愛称があり、米子空港駅は「べとざん駅」、境港駅は「鬼太郎駅」です。

翌朝、同温泉内に誕生した足湯(無料)につかってから、再び「水木しげるロード」へ。もちろんじっくり散策を楽しみましょう。「一反木綿」をデザインした鳥居が目印の「妖怪神社」、限定の妖怪消印が押されて郵便局へ。「妖怪ポスト」。文字通り妖怪一色の中、目玉は「水木しげる記念館」。水木さんの愛用品や10代の習作などが見ら

れることがあります。

続く「水木しげるロード」、その両側には139体もの妖怪のブロンズ像が鎮座。とはいっても、同

駅に着くのは夕方になる少し前

なので、この日は下見を兼ねた軽めの散策にとどめておきます。

宿泊はというと、お隣の米子市

にある海沿いの皆生(かい)ヶ

温泉がお勧め。絶景の日本海と

一定のリズムを刻む波の音は、

温泉がお勧め。絶景の日本海と